

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 第6次瀬戸市総合計画の進捗と瀬戸市の安全・安心な地域づくりの推進について</p> <p>【質問趣旨】 第6次瀬戸市総合計画は、平成29年度から令和8年度までの10年間の計画期間として策定されている。10年間で、掲げた目標を達成し、定住人口の安定さらには増加を目指すものと理解している。このことが本市の経済を押し上げ、市民福祉を向上させ「住みたいまち 誇れるまち 新しい瀬戸」の実現につながる。ここでは、目指すべき都市像の3つ目、「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」における、消防新庁舎整備事業の進捗を、</p> <p>(次のページへ)</p>	<p>(1) 第6次瀬戸市総合計画の「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」の施策の展開について</p> <p>(2) 消防新庁舎整備事業から見える「安全・安心な地域づくり」の推進方策について 1つ目の視点 Product</p>	<p>① 都市像③「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」の中で政策4「地域の生活環境の向上と安全・安心な地域づくり」とあります。施策の展開の中で「消防・救急体制の充実」とあるが、本市がどのような状況を想定しているのか改めて、伺う。</p> <p>② 令和6年度中期事業計画の中で、現消防庁舎に対する予算は、令和7年度修理設計費用として1,500万円。令和8年度は、現消防庁舎修理費用として2億円を計上している。消防新庁舎の予算計上が見当たらないが、消防新庁舎整備について、見解を伺う。</p> <p>① 消防新庁舎は、安全を提供する施設としての価値を持ちます。施設は、最新の消防設備や技術を備え、地域の防災機能を向上させると思料されるが、瀬戸市の現消防庁舎は、建設から50年が経過し老朽化は顕著であり、出動動線や安全性などに課題があると考えます。現消防庁舎の現状と見直すべき課題について、伺う。</p> <p>② 近年では、地震や風水害などの大規模災害が全国で多発しており、防災拠点施設としても、消防新庁舎に施設の充実・強化を図る必要があると考えますが消防新庁舎に必要な機能について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>一般的にはマーケティング戦略で使用する Product・Price・Place・Promotion の 4 P 分析の視点を活用して質問する。</p>	<p>(3) 2つ目の視点 Price</p>	<p>③ 現消防庁舎が建設された昭和47年当時は、職員数43名、消防車両台数9台、令和5年現在では職員数84名、消防車両台数16台を有している。計画している消防新庁舎の規模や配置計画、ゾーニングの検討状況について伺う。</p> <p>④ 消防新庁舎竣工に伴う、現消防庁舎の跡地について、見解を伺う。</p> <p>① 消防新庁舎の新築コストについて、消防新庁舎整備事業は、設計管理費に2億9700万円、建設工事費に24億1800万円とされているが、その他かかる費用を試算すると実際の総事業費について伺う。</p> <p>② 財源の確保について伺うが、消防新庁舎建替え移転した場合、国の財政支援措置である「緊急防災・減災事業債」など財政上の優遇措置のある地方債の活用について検討を進めていると思料するが、見解を伺う。</p> <p>③ 本市の消防新庁舎整備事業を含めた投資的事業の財源充当について、財政措置の見込が薄い事業は、本市が誇る実質公債費比率の健全指数を加味し、一般事業債である消防債を当てて、包括的で戦略的に対応すべきとも考えるが、見解を伺う。</p> <p>④ 財政規律ガイドラインにおける消防新庁舎整備事業を含めた場合、公共施設等整備基金の活用及び基金残高の確保について、伺う。</p>

(2 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>③ 最後に、消防新庁舎整備事業の推進については、昨今の地震や風水害などの大規模災害が全国各地で多発し、近い将来に南海トラフ巨大地震の発生も危惧されていることなどを考慮すると、市民の安全・安心の要となる現消防庁舎の機能改善及び強化は、喫緊の課題と考える。</p> <p>このような状況を踏まえ、消防新庁舎整備事業の前向きな推進を今からでもすぐに、目指すべきであると思料するが、本市が進むべき安全・安心な防災のまちとしての消防新庁舎整備事業をどう進めていくのか、市長に、見解を伺う。</p>

- 備考
1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。